

# 御食国ひょうご

みけつくくに

# 令和の挑戦

都市近郊の立地を活かした  
農林水産業の基幹産業化と  
五国の持続的发展



温暖化にも負けない、美味しいお米を。  
兵庫県と JA グループ兵庫がタッグを組んで開発した兵庫県の  
新しいお米『コ・ノ・ホ・シ』が令和7年秋にデビューします。



# コ・ノ・ホ・シ

地球温暖化により始まった研究、その期間約10年。  
研究現場にはこの地球（ホシ）のことを想い、汗を流す人がいた。  
地球（ホシ）と米の関係を憂い、研究に協力する農家の方がいた。  
空と、土（大地）と、金色に輝く稲穂。  
このお米は、兵庫県の人々が地球（ホシ）のことを想いながらいただく。  
このホシで生まれた「米」を、脈々と引き継ぐために。



詳しくはこちらをご覧ください ⇒



# 目 次

## 第1部 ひょうごの農林水産業の概要

- |                        |      |
|------------------------|------|
| 1. 多彩なひょうごの農林水産業 ..... | P1~2 |
| 2. 農林水産業の概要 .....      | P3~4 |

## 第2部 ひょうご農林水産ビジョン2030概要

- |                                |       |
|--------------------------------|-------|
| 1. めざす姿 .....                  | P5    |
| 2. ビジョンの基本方向 .....             | P5~6  |
| 3. ビジョンの位置付け .....             | P6    |
| 4. ビジョンの計画期間 .....             | P6    |
| 5. 推進項目と主な取組 .....             | P7~8  |
| 6. 農林水産ビジョン2030とSDGsとの関連 ..... | P9~10 |

## 第3部 2025年度施策の概要

- |                                |        |
|--------------------------------|--------|
| 1. ビジョン2030施策体系と2025年度予算 ..... | P11    |
| 2. 2025年度の重要施策 .....           | P12~16 |

この冊子は、県民のみなさんに広く手に取っていただき、ひょうごの「農」への理解をより一層深めるため、本県農林水産行政に関する情報を分かりやすくまとめたものです。

## 1. 多彩なひょうごの農林水産業

兵庫県は、「日本の縮図」ともいわれるように、北は日本海、南は瀬戸内海及び太平洋に続く紀伊水道に面し、中央部には中国山地が東西に横たわり、高原、平野、島々など広大で変化に富んだ地形と厳寒、降雪、乾燥、温暖という様々な気候が存在するなど、他府県に類を見ない多様な自然環境を有しています。さらに、歴史的に形成されてきた特色ある固有の風土、文化を有する摂津（神戸・阪神）、播磨、但馬、丹波、淡路といった5つの地域で構成されており、多様な自然環境のもと、それぞれの地域の気候・風土に根ざした多彩な農林水産業が営まれています。

生産量で全国順位の上位を占める農林水産物が多く、主なものとして、農産物では、山田錦（酒米）（1位）、丹波黒（黒大豆）（1位）、たまねぎ、いちじく、カーネーション、また、水産物では、シラス（1位）、イカナゴ（1位）、ホタルイカ（1位）、マダイ（1位）、ノリ養殖、ズワイガニ、ハタハタ、エビ類、スズキ類などがあります。

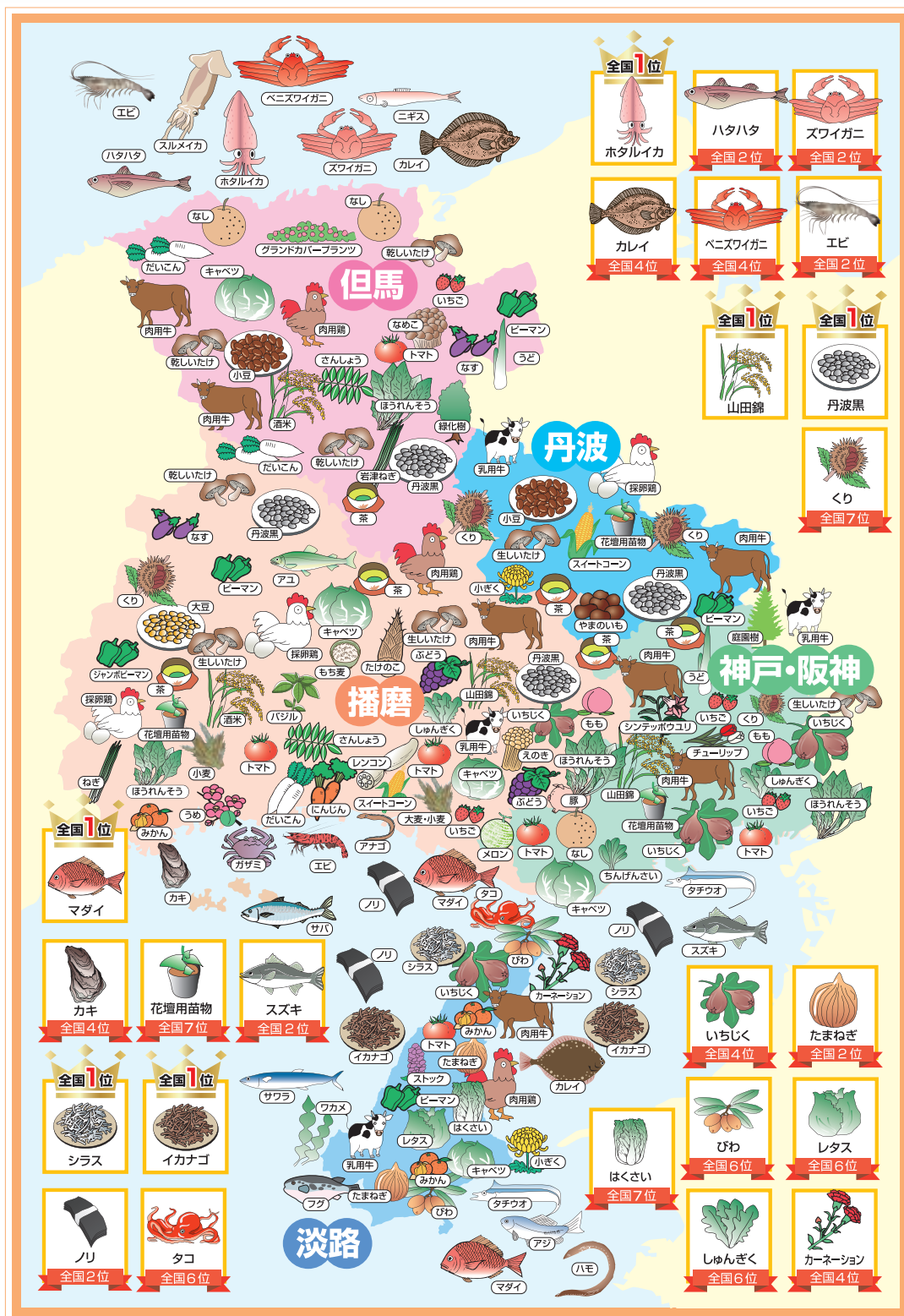
また、神戸ビーフ、明石鯛などは、全国的にも有名なブランドとして知られています。

地域的には淡路地域など農林水産業の盛んな地域を有する一方、人口の多い神戸・阪神地域を有する消費県でもあります。このため、食料自給率（令和4年度）は、カロリーベースでは16%（全国38%）、生産額ベースでは32%（全国58%）と全国よりも低い水準となっています。

## 全国上位を占める主な農林水産物

項 目	生産量等	全国シェア	全国順位	県内の主な産地	備 考（資料）	
米	山田錦【酒米】（出荷量）	18,956 t	54.8%	1	播磨地域	農林水産省「令和5年産米の農産物検査結果（確定値）」 ※山田錦出荷量は検査数量ベース
豆	丹波黒【黒大豆】（収穫量）	700 t	34.9%	1	丹波・播磨地域	県農産園芸課調べ（令和5年）
野菜	たまねぎ（収穫量）	97,800 t	8.4%	2	淡路地域	農林水産省「令和5年産野菜生産出荷統計」
	レタス（収穫量）	22,800 t	4.2%	6	淡路地域	//
	しゅんぎく（収穫量）	1,140 t	4.6%	6	神戸・阪神地域	//
	はくさい（収穫量）	20,200 t	2.4%	7	淡路地域	//
	キャベツ（収穫量）	24,400 t	1.7%	11	淡路・神戸地域	//
果実	いちじく（収穫量）	1,170 t	11.5%	4	神戸・阪神地域	農林水産省「令和3年産特産果樹生産動態等調査」
	びわ（収穫量）	144 t	6.2%	6	淡路地域	農林水産省「令和5年産果樹生産出荷統計」
	くり（収穫量）	416 t	2.8%	7	丹波・阪神地域	//
花き	カーネーション（出荷量）	16,200千本	8.9%	4	淡路地域	農林水産省「令和5年産花き生産出荷統計」
	花壇用苗もの類（出荷量）	23,500千本	4.6%	7	神戸・播磨地域	//
畜産物	生乳（生産量）	74,179 t	1.0%	14	播磨・淡路地域	農林水産省「令和5年牛乳乳製品統計」
	肉用牛（飼養頭数）	58,400頭	2.2%	10	淡路・播磨・阪神・但馬地域	農林水産省「令和5年畜産統計」
	鶏卵（生産量）	99,427 t	4.1%	9	播磨地域	農林水産省「令和5年畜産物流通統計」
	ブロイラー（出荷羽数）	12,985千羽	1.8%	12	但馬地域	農林水産省「令和5年畜産統計」
	はちみつ（生産量）	72 t	2.7%	11	播磨・阪神地域	農林水産省畜産振興課調べ（令和5年）
水産物	シラス（漁獲量）	12,418 t	29.4%	1	瀬戸内海	農林水産省「令和4年漁業・養殖業生産統計」
	イカナゴ（漁獲量）	1,709 t	50.8%	1	瀬戸内海	//
	ノリ養殖（収穫量）	50,138 t	21.6%	2	瀬戸内海	//
	ズワイガニ（漁獲量）	518 t	19.4%	2	日本海	//
	ハタハタ（漁獲量）	890 t	28.3%	2	日本海	//
	ホタルイカ（漁獲量）	4,016 t	58.8%	1	日本海	県水産漁港課調べ（令和4年）
	エビ類（漁獲量）	1,585 t	12.3%	2	日本海	農林水産省「令和4年漁業・養殖業生産統計」
	タコ類（漁獲量）	712 t	3.2%	6	瀬戸内海	//
	カレイ類（漁獲量）	1,747 t	4.9%	4	日本海・瀬戸内海	//
	ベニズワイガニ（漁獲量）	1,678 t	13.6%	4	日本海	//
	マダイ（漁獲量）	2,175 t	14.0%	1	瀬戸内海	//
	カキ（漁獲量）	9,484 t	5.7%	4	瀬戸内海	//
	スズキ類（漁獲量）	477 t	9.2%	2	瀬戸内海	//

# 多彩なひょうごの農林水産物マップ



## 「農」とは

土を耕し、森を育て、豊かな海を守り、食料をはじめ人々の生活を支える様々なものを産み出す農林水産業の営み、その営みを通じた生物多様性などの環境保全や洪水防止、水源かん養等の多面的機能により県民の「いのち」と「暮らし」を支えるもの。

さらには、人々の生活の場である農山漁村とそこに育まれた伝統・文化、豊かで美しい景観など、広く農林水産業・農山漁村を捉えた概念。

## 2. 農林水産業の概要

### 農業の現状

#### ① 農業産出額

本県の農業産出額は1,583億円（全国20位）で、近畿地方（6府県）の34%を占めており、京阪神都市圏の食料生産基地として重要な地位にあります。

農業産出額の構成比を見ると、米（26%）、野菜（27%）、畜産（39%）で全体の約92%を占めており、全国と比べると米の比率が高くなっています。

#### ② 基幹的農業従事者の年齢構成

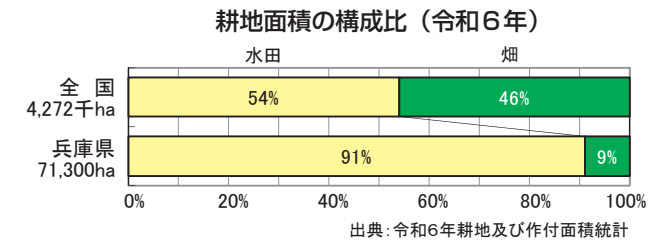
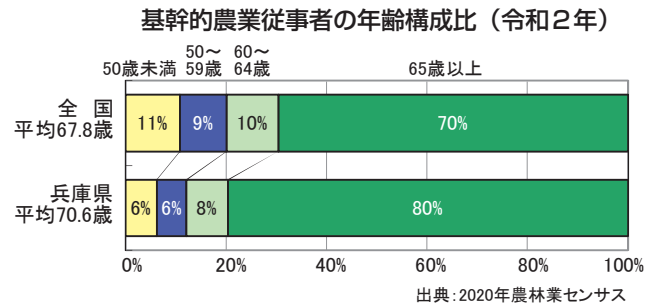
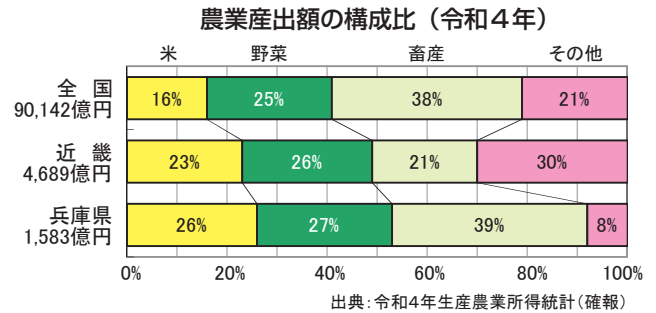
基幹的農業従事者の平均年齢は70.6歳と全国（67.8歳）よりも高く、高齢化が進行しています。

#### ③ 耕地面積

耕地面積は、71,300ha（全国18位）です。そのうち水田面積は65,200ha（全国12位）で、耕地全体に占める割合は全国（54%）と比べると極めて高く、91%となっています。

一経営体当たりの経営耕地面積は1.2haで、全国（3.1ha）の半分以下であり、小規模な経営が大半を占めています。

また、降水量の少ない瀬戸内地域や淡路地域を中心に、ため池が数多く築造されており、農業用水の約半分はため池に依存しています。



### 畜産業の現状

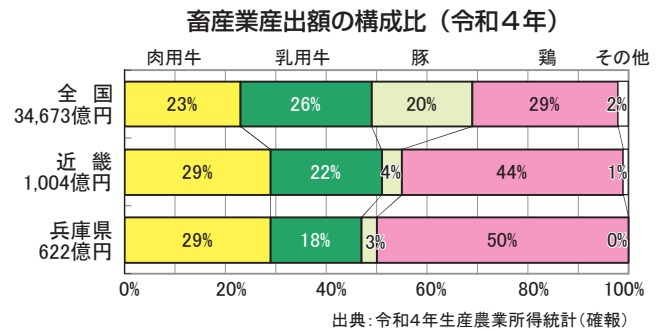
#### ① 畜産業産出額

本県の畜産業の産出額は622億円で、近畿地方（6府県）の62%を占めています。家畜別では、肉用牛が180億円、乳用牛が110億円、豚が17億円、鶏が314億円となっています。

#### ② 飼育状況

家畜の飼育状況は、肉用牛が58,400頭（全国10位）、乳用牛が12,300頭（全国14位）、豚20,000頭（全国37位）、採卵鶏が565万羽（全国12位）、肉用鶏が241万羽（全国12位）となっています。

肉用牛は県内全域で飼育されていますが、そのうち繁殖雌牛は45%が淡路地域で、25%が但馬地域で飼育されています。乳用牛は38%が播磨地域、33%が淡路地域で飼育されており、採卵鶏は87%が播磨地域で、肉用鶏は70%が但馬地域で飼育されています。



## 林業の現状

### ①森林面積

本県の森林面積は560,154ha（全国14位）で、県土に占める森林の割合は全国とほぼ同じ67%ですが、そのうち、個人や集落が所有している民有林は529,856haで、その割合は95%と全国と比べて極めて高い状況です。

また、民有林の42%（221,657ha）をスギ、ヒノキ等の人工林が占めており、そのうち、伐採して利用が可能とされる46年生（10齢級）以上の森林が82%を占めています。

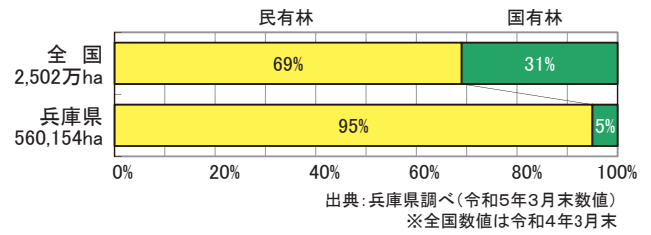
### ②林業労働者

県内林業労働者数は、令和5年度末現在740人で、減少傾向は続くものの、50歳未満の労働者数は、平成5年度の276人から令和5年度には449人へと増加し、年齢構成が若返ってきています。

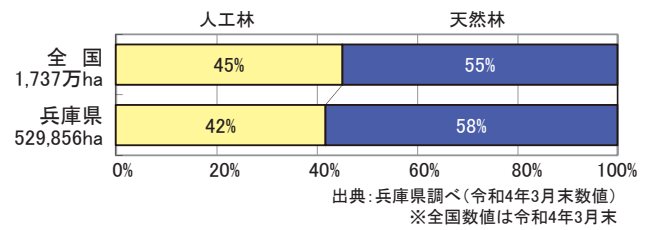
### ③林業産出額

林業産出額は51.8億円で、このうち木材生産は39.7億円（77%）であり、針葉樹の産出額が96%を占めています。また、栽培きのご類は6.8億（13%）で、このうち、生しいたけが94%を占めています。

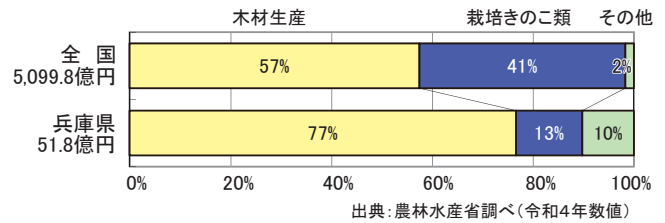
森林の構成比（令和4年）



民有林の構成比（令和4年）



林業産出額の構成比（令和4年）



## 水産業の現状

### ①漁業産出額

本県の漁業産出額は488億円で、全国8位（シェア3%）に位置するとともに、近畿地方（6府県）の66%を占めています。

### ②日本海の特徴

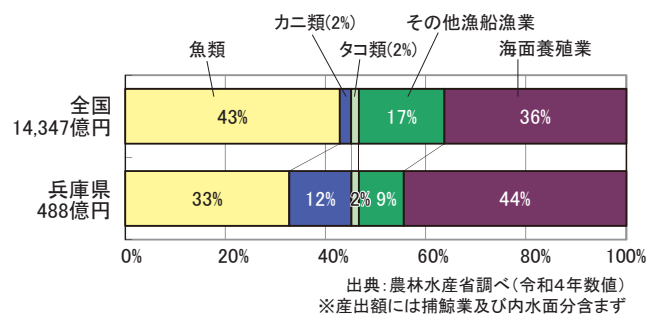
日本海では、冬季風浪が厳しく、浅海域が少ないことから、大型船による沖合漁業が中心で、ズワイガニ、エビ類、ベニズワイガニ、ホタルイカ、カレイ類、ハタハタなどが漁獲されています。

### ③瀬戸内海の特徴

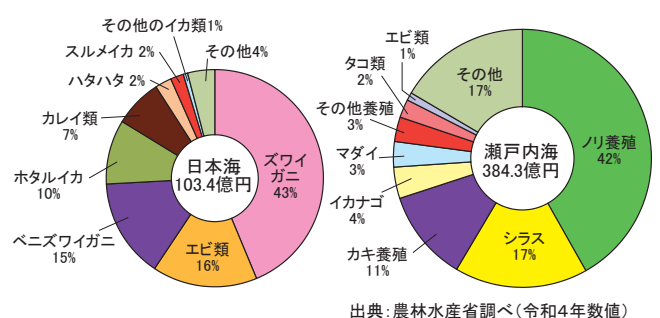
瀬戸内海では、比較的水深が浅く、波浪が穏やかなことから、10t未満の小型船による沿岸漁業が中心となり、シラス、イカナゴ、マダイ、タコなどが漁獲されています。また、ノリやカキ等の養殖業も盛んで、特にノリ養殖の生産額は161億円と瀬戸内海の漁業産出額の42%を占めています。

シラス、イカナゴ、ホタルイカ、マダイが全国1位、ノリ養殖、ハタハタ、エビ類、ズワイガニ、スズキ類が同2位など、生産量が全国順位の上位を占める水産物も多く、重要な地域資源として各地域の活性化に寄与しています。

漁業産出額の構成比（令和4年）



海域別の漁業産出額の構成比（令和4年）



## 1. めざす姿

みけつくに  
御食国ひょうご 令和の挑戦～都市近郊の立地を活かした  
農林水産業の基幹産業化と五国の持続的発展～

新型コロナウイルスの影響を乗り越え、販売チャネルの多様化を図り経営基盤を強化した経営体が増加しています。また、UJI ターン、二地域居住に対する関心の高まりに各地域が積極的に対応することにより地域が活性化しています。

さらに、SDGs の理解が深まり、都市近郊の立地を活かして実需者や消費者と直接結びついた持続可能な力強い農林水産業が展開されています。近年多発する自然災害への対応として防災・減災対策が進み、農福連携や農泊など「農」と多様な分野との連携による新たな取組が県内に広がり、県民が安心して暮らせる活力ある地域が創出されています。加えて、ひょうごの「農」がもたらす恵みが県民はもとより国内外でも享受され、ひょうごの「農」にかかわるすべての人々の健康で豊かな暮らしに結びついています。

## 2. ビジョンの基本方向

## 基本方向Ⅰ 基幹産業として持続的に発展する農林水産業の展開

スマート化による効率化、産品毎のブランド力の強化、多様な人材が農業を支え合う地域協働体制の構築、販売チャネルの多様化、海外市場の開拓等により、**基幹産業として持続的に発展する農林水産業の展開**をめざす。

## 農業



都市近郊の立地を活かし、施設野菜など野菜の生産拡大や、農業の法人化と経営力の強化、企業参入の促進による次代を担う担い手の育成、農地の集積・集約化等を進め、実需と結びついた競争力の高い農業の展開をめざす。

## 畜産業



但馬牛繁殖雌牛の増頭による但馬牛・神戸ビーフの生産体制の強化、需要に応じた生乳の安定生産を進め、安全・高品質な畜産物の生産強化をめざす。

## 林業



人工林の適正な経営管理のもと、県産木材の利用促進を図り、植林・保育・伐採・利用の林業サイクルが継続する資源循環型林業の構築をめざす。

## 水産



適正な栄養塩管理等による豊かで美しい海の再生、経営感覚に優れ意欲ある漁業者等の育成による収益性の高い力強い漁業の確立をめざす。



## 基本方向Ⅱ

# 県民が安心して暮らせる活力ある地域の創出

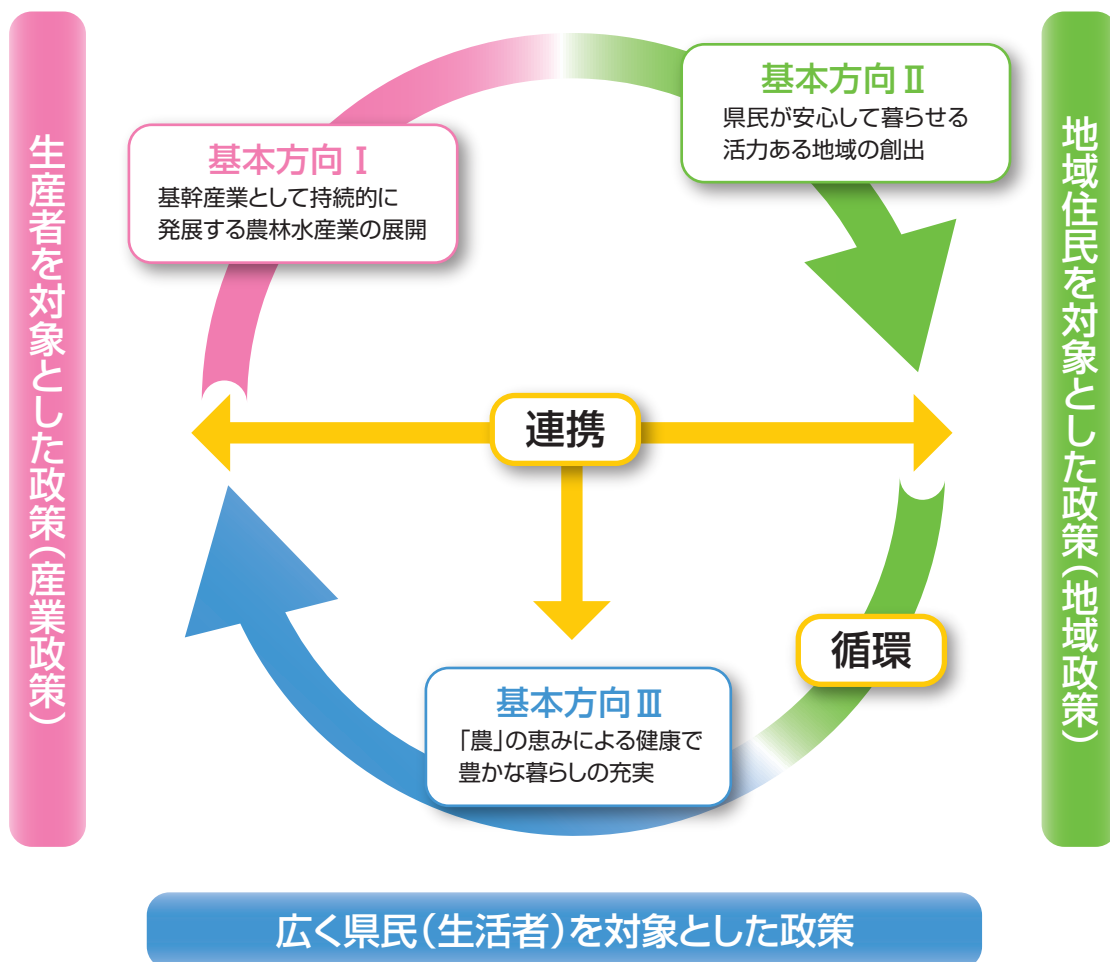
地域ぐるみの協働活動や地域資源の活用などによる中山間地域の農村コミュニティの活性化や、災害に強い安全・安心な農山漁村の暮らしの確保、防災機能・公益的機能など森林の機能向上等により、**県民が安心して暮らせる活力ある地域の創出**をめざす。

## 基本方向Ⅲ

# 「農」の恵みによる健康で豊かな暮らしの充実

「楽農生活」のさらなる推進や農福連携等多様な分野との連携強化により、ひょうご五国の特徴ある多自然地域や農林水産業の維持・活性化、県産農林水産物の安全・安心で安定的な供給体制の強化により、「農」の恵みによる**県民（生活者）の健康で豊かな暮らしの充実**をめざす。

### 【産業政策と地域政策の連携・循環】



## 3. ビジョンの位置付け

本県農林水産行政推進の基本となる計画的かつ総合的な指針です。

また、農林水産業従事者のみならず、農山漁村や都市で暮らす人々などの県民、さらにインバウンドによる観光旅行者等、本県の食と「農」に関わるすべての人々を対象とした行動指針です。

## 4. ビジョンの計画期間

このビジョンの計画期間は、令和3年度から令和12年度（2030年度）までの10年間とします。

## 5. 推進項目と主な取組

### 基本方向Ⅰ 基幹産業として持続的に発展する農林水産業の展開

#### (1) スマート化による新しい農林水産業の実現

- ①低コストで導入可能な兵庫型スマート農業技術の開発・実証
- ②スマート農林水産業の導入推進（搾乳ロボット、森林クラウドシステム、漁場環境情報システム等）
- ③スマート農業機械の共同利用等の支援



ドローン防除（豊岡市）

#### (2) 多様性と都市近郊の立地を活かした力強い農業の展開

- ①高度環境制御技術の導入等による競争力の高い施設園芸産地の育成
- ②高温対策や需要と直結した米の安定生産の推進
- ③法人化と法人経営の強化による持続的な経営体の育成
- ④収入保険制度・農業共済制度への加入や制度資金の活用による経営の安定化の促進
- ⑤農作業の分業化による副業的な農作業の従事者や地域の多様な人材の確保
- ⑥地域ぐるみによる新規就農者の確保・定着支援
- ⑦地域農業の重要な担い手である集落営農の組織化と経営力の強化
- ⑧企業による農業参入・参画の促進、参入企業の育成
- ⑨野生動物の「潜み場」対策やスマート化等による荒廃農地の発生防止・解消
- ⑩地域計画に基づく担い手への農地の集積・集約化の推進
- ⑪農業生産の効率化に向けた農地の大区画化やパイプライン化の推進
- ⑫農家と消費者が連携し相互に支え合う地域支援型農業（CSA）の推進
- ⑬人と環境にやさしい環境創造型農業の拡大



賑わいを見せる就農希望者向けセミナー（神戸市）



ロールベラーによる牧草の収穫（朝来市）

#### (3) 需要に応じた高品質な畜産物の生産力の強化

- ①牛舎整備や繁殖雌牛の導入支援等による但馬牛の増頭と神戸ビーフの増産
- ②神戸ビーフをはじめとする県産畜産物の安定生産とブランド力の強化
- ③スマート化や長命連産性の向上等による収益性の高い酪農経営の推進
- ④自給飼料の増産と耕畜連携の推進



CLT（直交集成板）を利用したカフェ兼モデルルーム（加古川市）

#### (4) 木材利用の拡大と資源循環型林業の推進

- ①民間施設の木造・木質化や燃料用チップの安定供給などによる県産木材の利用推進
- ②人工林のゾーニングによる木材生産と環境保全の調和がとれた計画的な森林整備の推進
- ③県立森林大学の充実による新規林業就業者の確保・育成
- ④低コストで効率的な主伐・再造林の普及モデルの展開

#### (5) 豊かな海と持続的な水産業の実現

- ①海底耕うんや施肥等漁業者による豊かな海づくり活動への積極的な支援
- ②マダコの種苗生産等豊かな海の再生に向けた栽培漁業の展開
- ③漁場現場での長期研修等の支援による漁業者の確保・育成
- ④漁業者の所得向上に向けた収益性の高い養殖業・漁船漁業の確立



放流前の稚ダコ

## (6) 農林水産物のブランド力強化と生産者所得の向上

- ① 産品が持つ優位性（魅力）を明確にしたブランド戦略の策定・実践の推進
- ② EC サイトの活用や兵庫県認証食品のプロモーション強化
- ③ 神戸ビーフ、県産米、日本酒等の輸出促進
- ④ 生産から消費まで結びつけるフードチェーンづくりとブランド強化の推進
- ⑤ 農家自らによる商品開発や直販等につながる6次産業化の推進



企業と連携した県産食材を活用した商品のフェア

## (7) 食の安全を支える生産体制の確保

- ① GAP（農業生産工程管理）や農場 HACCP の考え方に基づく衛生管理体制の導入推進
- ② 重大家畜伝染病の発生予防・まん延防止（口蹄疫や豚熱、鳥インフルエンザ等）

## 基本方向Ⅱ 県民が安心して暮らせる活力ある地域の創出

### (8) 特色を活かした活力ある地域づくりの推進

- ① 農用地保全や農業を核とした経済活動と併せ地域コミュニティの維持に取り組む農村型地域運営組織（農村RMO）の形成推進
- ② 棚田の多面的機能の維持と地域の賑わいづくりの推進
- ③ UJI ターン施策と連携した定住・二地域居住や就農促進
- ④ 野生動物の個体数管理による農林業被害の軽減対策の推進
- ⑤ 多面的機能支払制度・中山間地域等直接支払制度を活用した農業生産活動等の推進
- ⑥ バイオマスを活用した地域活性化の推進
- ⑦ 内水面における水産資源の維持と地域活性化の推進



ため池改修状況（三木市渡瀬皿池（わたせざらいけ））

### (9) 農山漁村の防災・減災対策の推進

- ① ため池の定期・巡回点検の実施や改修・廃止の推進
- ② 治山ダム整備等による計画的な危険地区の解消
- ③ 漁港施設の長寿命化等の推進



集落を保全する治山ダム（三田市）

### (10) 豊かな森づくりの推進

- ① 森林環境譲与税を活用した森林管理の徹底
- ② 針広混交林への誘導や危険木伐採等による災害に強い森づくりの推進

## 基本方向Ⅲ 「農」の恵みによる健康で豊かな暮らしの充実

### (11) 食と「農」に親しむ楽農生活の推進

- ① オープンファームなど多様な楽農生活実践機会の創出
- ② 田園回帰に伴う定住・二地域居住や半農半X志向を踏まえた楽農生活実践の拡大



オープンファームでの枝付黒枝豆の出荷調整体験（猪名川町）

### (12) 「農」と多様な分野との連携強化

- ① 農林漁業者と福祉事業所とのマッチング促進による農福連携の推進
- ② グリーン・ツーリズムの推進
- ③ マリン・ツーリズムの推進



農福連携技術支援者育成研修での作業の細分化・難易度評価演習（加西市）

### (13) 県民への農林水産物の安定供給と県産県消の推進

- ① 卸売市場を通じた安定供給の確保
- ② 県産県消の推進（直売活動の支援、おいしいごはんを食べよう県民運動、学校給食での県産食材の利用促進、食育、魚食普及）

## 6. 農林水産ビジョン2030とSDGsとの関連

「ひょうご農林水産ビジョン 2030」のめざす姿（御食国ひょうご 令和の挑戦～都市近郊の立地を活かした農林水産業の基幹産業化と五国の持続的発展）とSDGs（持続可能な開発目標）は、農林水産業・農山漁村を含め「持続可能な地域づくり」をめざす観点で合致しており、また、それぞれは2030年を目標年に定めている点でも共通しています。

### 1 農林水産分野でのSDGsの理解醸成

県内の農林漁業者や関係機関等に対してSDGsへの理解を促進するため、SDGsについての正しい理解や取組方法を学ぶことを目的に農林漁業者等を対象にセミナーを開催するとともに、先進的なSDGs実践モデルの紹介と取組価値を消費者と農林漁業者が共創するシンポジウムを開催しています。



また、農林水産業の現場でSDGs達成に向けた取組を拡大するため、農林漁業者等に専門家を派遣し、SDGsと自らの業務の関連の整理や経営計画への反映を促進しています。



専門家派遣の様子

### 2 SDGs達成に向けた取組の見える化

農林漁業者等のSDGsの達成に向けた取組の見える化により消費者の理解を醸成し、農林漁業者等の取組気運の向上を図るため、令和6年度から新たに「ひょうご農林水産SDGs推進宣言・認証事業」を創設しました。

	ひょうご農林水産 SDGs 推進宣言事業	ひょうご農林水産 SDGs 認証事業
概要	SDGs 達成に向けた自身の取組を整理・公表する「SDGs 宣言」を行った農林漁業者等を県が登録	SDGs 宣言をより深化させた取組についてチェックシートによる自己評価や具体的な目標設定を行い、有識者会議を経て県が認証
対象者	認定農業者、農林水産業を営む法人、農協・森林組合・漁協等	ひょうご農林水産 SDGs 推進宣言事業の登録者
要件	①目指すSDGsのゴールを1つ設定 ②ゴール達成に向けた取組を設定 ③上記を自らのHP等により公表	①チェックシートによる自己評価を実施 ②5年以内に目指す目標を3つ設定 ③ひょうごSDGs Hub への参画
メリット	県HPへの掲載、登録証・認証書の交付、専用ロゴマークの使用	
ロゴマーク		

※詳細は県HPをご覧ください ⇒



### 3 県内のSDGs取組事例紹介

#### 株式会社丹波農商（丹波市）

但馬牛の繁殖と飼料作物、水稻等を組み合わせた経営。

自社で発生する家畜ふん尿及び近隣企業から提供される食料残さを活用し、良質な堆肥を自社で製造。これを活用して土づくりを行うことで、栄養価の高い良質な牧草を生産し、それを牛に給与することで健康な牛の飼養管理につなげる循環型農業を構築している。

堆肥の活用により化学肥料の使用量を削減する一方で、自給飼料の生産によりコストを削減し、収益を安定させることにより、持続可能な経営の実現を目指している。



飼料作物の栽培

#### 株式会社コウエイ（たつの市）

山林等の樹木の伐採や家屋解体材の引き取り、古材の販売、木質チップ生産等、幅広い事業を展開。

人工林の間伐・主伐で発生する枝葉等の林地残材を木質バイオマス発電用燃料として活用するため、林業事業者や発電事業者らと連携し、収集運搬方法等の改善・効率化に向けて積極的に取り組んでいる。

耕作放棄地を活用し、CO<sub>2</sub>吸収能力が高く成長に優れ、花粉量が少ない等の特徴を持つ特定苗木の栽培や、植林から伐採までの期間が短い早生樹栽培にも取り組む。



再造林の際に植栽の支障となる  
林地残材の収集

#### 明石市漁業組合連合会（明石市）

明石市の5つの漁業協同組合（明石浦、林崎、江井ヶ島、東二見、西二見）で構成する連合会。

連合会では固くなった海底の底質を改善し生物が生息しやすい環境を作る「海底耕耘」や、地域集落と連携し、ため池の底にたまった栄養分を海へ流す「かいぼり」を実施。また、タコの生育環境の改善・資源保護を図るための「たこつぼ」の投入やスタグレ貝の放流、遊漁船の利用者にも資源保護を意識してもらう仕組みである「タコマイレージ」の導入など、豊かな海を取り戻すために今できることから挑戦するとともに、こうした取組を広く知ってもらう活動も実施している。



スタグレ貝の放流

1. ビジョン2030施策体系と2025年度予算

【めざす姿】

【基本方向】

【推進項目】

【推進項目の概要】

御食国ひょうご 令和の挑戦

都市近郊の立地を活かした農林水産業の基幹産業化と五国の持続的発展

I 基幹産業として持続的に発展する農林水産業の展開

36,032百万円

- 1. スマート化による新しい農林水産業の実現 277百万円
- 2. 多様性と都市近郊の立地を活かした力強い農業の展開 8,664百万円
- 3. 需要に応じた高品質な畜産物の生産力の強化 617百万円
- 4. 木材利用の拡大と資源循環型林業の推進 24,004百万円
- 5. 豊かな海と持続的な水産業の実現 1,825百万円
- 6. 農林水産物のブランド力強化と生産者所得の向上 373百万円
- 7. 食の安全を支える生産体制の確保 271百万円

- ICTやセンシング技術、自動化技術など先端技術を活用し、各地域の営農条件等に対応したスマート化を推進します
- 多様な自然環境と消費地に近接する立地を活かし、実需と結びついた競争力の高い農業を展開します
- 神戸ビーフ館の開設や但馬牛の日本農業遺産の認定を契機とし、神戸ビーフ、但馬牛のさらなる需要を喚起します
- 県産木材の利用を促進し、植林・保育・伐採・利用の林業サイクルが継続する「資源循環型林業」を構築します
- 漁場整備や増殖場の機能を回復・強化し、積極的な種苗放流等により、豊かで美しい海を再生します
- 県産農林水産物について、それぞれの産品が持つ優位性（魅力）を明確にし、国内・海外市場をターゲットに流通・販売の拡大を図ります
- 生産者と連携して、食の安全性を確保するとともに、持続可能な生産体制を強化し、県民に信頼される食の安定供給を推進します

II 県民が安心して暮らせる活力ある地域の創出

23,700百万円

- 8. 特色を活かした活力ある地域づくりの推進 5,696百万円
- 9. 農山漁村の防災・減災対策の推進 15,617百万円
- 10. 豊かな森づくりの推進 2,388百万円

- 田園風景や地域のお祭りなどの地域資源の活用や、地ぐるみで環境保全に取り組むことにより、集落機能の維持等を推進します
- 近年頻発化する局地的な豪雨や台風、近い将来に危惧される南海トラフ等巨大地震に備えるため、安全・安心な農山漁村づくりを推進します
- 森林を県民共通の財産と位置づけ、県民緑税などを活用した、森林の適正管理と災害に強い森づくりにより、森林の公益的機能の維持・向上を推進します

III 「農」の恵みによる暮らしの充実

650百万円

- 11. 食と「農」に親しむ楽農生活の推進 122百万円
- 12. 「農」と多様な分野との連携強化 4百万円
- 13. 県民への農林水産物の安定供給と県産県消の推進 524百万円

- 県民一人ひとりの「楽農生活」が充実し、さらには県民の取組が地域や世代を超えたつながりや広がりを推進します
- 「農」と福祉や観光など他分野との連携を強化し、農福連携やグリーン・ツーリズム等の取組の展開により、農山漁村の活性化を推進します
- 卸売市場をはじめとした流通システムのより一層の強化や、県産県消の推進により消費者と生産者がともに支え合う関係を構築します

※予算額は10万円単位で四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合があります。

## 2. 2025年度の重要施策

### 【施策展開方向】

SDGsの達成に向けて持続可能な農林水産業を展開すべく、都市近郊の立地を活かし、地域の経済と雇用を支える基幹産業化に資する取組を推進する。

このため、コスト構造の改革に加え、カーボンニュートラルを見据えた環境負荷の低減や有機農業の担い手育成・出口対策に取り組むとともに、地域住民が主体となり課題解決を図っていく農村RMOの創出を支援し、持続可能な地域づくりを推進する。

また、資源循環型林業や森林の公益的機能が発揮できるよう適正な森林管理を推進するほか、豊かな海を再生する取組や漁船漁業の高度化を進め、持続的な水産業の実現を図る。

さらに、県産農林水産物の付加価値を高め、国内・海外市場での流通・販売を拡大するとともに、2025年大阪・関西万博を好機と捉え、オープンファームなど地域に人を呼び込む取組や、CSAなど生産者と消費者が支え合う関係づくりを進め、消費者理解の醸成を図る。

項目	内容	
1. 兵庫型スマート農業の推進	①スマート農業技術普及の核となる人材の育成 ②産地の課題解決に向けた支援体制の強化	P.13
2. 有機農業をはじめとする環境創造型農業の更なる取組の拡大	①有機農業の担い手育成の強化 ②有機農産物等の流通・販売の促進 ③県民理解の促進	P.13
3. 本県の強みを活かし需要と直結した生産の新展開	①水稻オリジナル品種の迅速な普及 ②県産酒米・日本酒のブランド力強化	P.13
4. 多様な人材の確保・育成による担い手構造の改革	①「地域計画」の実現に向けた取組推進 ②地域ぐるみの新規就農者の確保・定着支援 ③農福連携の取組強化	P.14
5. 特色を活かした活力ある地域づくりの推進	①地域リーダーの養成と実践活動の取組促進 ②農村型地域運営組織（農村RMO）のモデル育成 ③農地の集積・集約化の推進	P.14
6. 需要に応じた高品質な畜産物の生産力の強化	①神戸ビーフの生産拡大 ②生乳の生産性向上 ③耕畜連携の推進	P.14
7. 資源循環型林業と適正な森林管理の推進	①県産木材の利用拡大 ②主伐・再造林の推進 ③森林経営管理制度の推進	P.15
8. 豊かな海と持続的な水産業の実現及び漁村の活性化	①豊かな海を再生する取組の推進 ②漁船漁業の高度化の推進 ③漁村の活性化に向けた「海業」の推進	P.15
9. 県産農林水産物の流通・販売の拡大支援	①ブランド戦略の推進 ②国内での販路拡大支援 ③海外市場の販路開拓	P.15
10. 食と「農」に親しむ楽農生活と県産県消の推進	①定住・二地域居住の促進や楽農生活実践の拡大 ②生産者と消費者が互いに支え合える関係づくりの推進 ③学校給食での県産食材の利用促進	P.16
11. 重大家畜伝染病の発生・まん延防止対策の徹底	○飼養衛生管理の徹底と実効性の高い防疫対策の構築	P.16
12. ため池災害等の未然防止と避難対策の推進	①ため池の適正管理の推進と防災工事の実施 ②減災・避難対策の推進	P.16
13. 災害に強い森づくりの推進	○「災害に強い森づくり（第4期対策）」の推進	P.16

# 2025年度の重要施策

## 重要施策 1 兵庫型スマート農業の推進

農業者の高齢化・担い手不足に対し、農作業の省力化や作業軽減等による生産性の向上を図るため、スマート農業技術の導入を支援します。

### 【取組内容】

#### ① スマート農業技術普及の核となる人材の育成

担い手を対象にスマート農業研修会を開催し、スマート農業の導入を適切に経営判断できる農業者を育成

育成した人材を核とし、地域の実情に応じて、共同利用や農業支援サービス事業体による省力化等の取組を推進

#### ② 産地の課題解決に向けた支援体制の強化

産地でのスマート農業の導入を加速化するため、スマート農業に精通した専門家が企業とともに産地が抱える課題の解決手法を提案する体制を強化



ドローン活用の先進地事例を学ぶ  
現地研修会（丹波篠山市）

## 重要施策 2 有機農業をはじめとする環境創造型農業の更なる取組の拡大

有機農業に必要な知識・技術を体系的に習得する場の設置により担い手の育成を強化するほか、大消費地の量販店等に向けた効率的な出荷・流通モデルの構築や有機農業に対する理解促進を図ります。

### 【取組内容】

#### ① 有機農業の担い手育成の強化

県立農業大学校での「経営として成り立つ有機農業」を体系的に学ぶコース「有機農業アカデミー」（1年制、定員：10名）の開講に向けた準備を推進（R8.4月開講予定）

#### ② 有機農産物等の流通・販売の促進

価格高や生産拡大阻害要因となっている出荷コスト・労力を削減するため、有機農業者と食品流通事業者とのマッチングを行い、出荷・流通効率化を支援

#### ③ 県民理解の促進

環境創造型農業に対する理解促進のための「環境創造型農業サミット」を開催するとともに、有機農業栽培体験や環境負荷を低減した農業の情報発信に取り組む団体に対し支援

#### コウノトリと、トキと、食・地域の未来と。

～兵庫県・豊岡市×新潟県・佐渡市 環境創造型農業サミット～

【日時】6月7日（土）【場所】豊岡市民会館

主催：兵庫県、豊岡市

共催：新潟県、佐渡市

後援：JA たじま、JA 佐渡 ほか



## 重要施策 3 本県の強みを活かし需要と直結した生産の新展開

温暖化に対応した水稲オリジナル品種の迅速な普及を図るとともに、県産酒米を使用した日本酒の更なる認知度向上・需要拡大を促進します。

### 【取組内容】

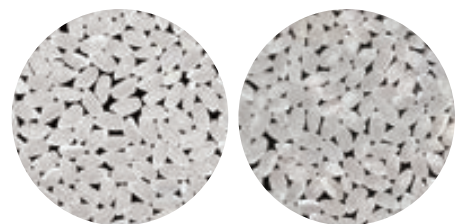
#### ① 水稲オリジナル品種の迅速な普及

JAグループ等と連携し、高温耐性があり、キヌヒカリと同じ収穫期で食味に優れた新品種「コ・ノ・ホ・シ」の一般栽培を開始し、秋には販売開始を予定

消費者への認知度向上を図るため、ホームページ等を活用したオリジナル品種のブランドプロモーションを実施

#### ② 県産酒米・日本酒のブランド力強化

「伝統的酒造り」のユネスコ無形文化遺産の登録や「兵庫の酒米『山田錦』の生産システム」の日本農業遺産認定を契機に、県産酒米を使用した日本酒の更なる需要拡大を図るため、有機等こだわり日本酒の商品開発への支援や、海外バイヤーと県内酒蔵のマッチングを推進



コ・ノ・ホ・シ（左）とキヌヒカリ（右）の精米比較  
〔コ・ノ・ホ・シはキヌヒカリと比較して高温耐性に優れており、白未熟粒が少ない〕



## 重要施策 4 多様な人材の確保・育成による担い手構造の改革

地域の話合いに基づき策定された地域計画の実現に向けた取組の支援や、多様な人材の地域農業への参画を推進し、持続可能な地域農業の実現を図ります。

### 【取組内容】

#### ①「地域計画」の実現に向けた取組推進

本庁・県民局に設置した部局横断のチームによる農地・担い手関連施策の地域への一体的働きかけや、市町担当職員研修の開催等により、策定された地域計画の実現に向けた取組を支援

#### ②地域ぐるみの新規就農者の確保・定着支援

就農支援センターが窓口となり、就農相談から就農後の定着まで一貫した支援に取り組むとともに、地域ぐるみでの農業と暮らし両面の支援情報の一体的な発信、外部人材受入れに係る地域の合意形成、地域への溶込みや経営継承の環境整備など、地域主導で円滑な就農・定着をサポートする活動を支援

#### ③農福連携の取組強化

農福連携技術支援者育成研修を実施し、現場段階で農福連携の技術的な助言等ができる人材を確保・育成するほか、連携モデル育成のため取組開始時の知識習得や農機具類の導入を支援



農福連携技術支援者育成研修における作業の細分化・難易度評価の演習（加西市）

## 重要施策 5 特色を活かした活力ある地域づくりの推進

高齢化・人口減少の進展により、農村地域の農業生産活動及び集落維持機能が低下していることから、これらを下支えする「農村型地域運営組織（農村 RMO ※）」の創出を支援するほか、地域での話し合いによる担い手への農地の集積・集約化を進めます。

※農村 RMO：農地保全など、農村地域づくりの取組を持続的に実践する地域住民主体の組織

### 【取組内容】

#### ①地域リーダーの養成と実践活動の取組促進

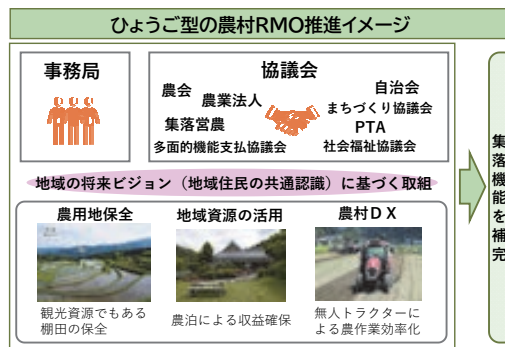
地域づくりに要する知識・技術を習得する研修会等を開催し、農村地域づくりをリードする牽引役を養成  
地域資源を活用した試行的取組や地域の課題解決に向けた実証的取組等を支援

#### ②農村型地域運営組織（農村 RMO）のモデル育成

将来ビジョンの策定やビジョンに基づく調査・実証事業など、地域協議会による取組を支援

#### ③農地の集積・集約化の推進

地域計画に基づき担い手への農地の集積・集約化を推進するほか、「農地整備 10 箇年推進プログラム」に基づき、大区画化などスマート農業の導入に対応した農地整備や畑作物導入を促進する暗渠排水工（農地の排水改良）を実施



## 重要施策 6 需要に応じた高品質な畜産物の生産力の強化

但馬牛繁殖雌牛の導入支援や但馬牛受精卵の乳牛への移植により、神戸ビーフの生産拡大を推進するとともに、酪農経営の収益性向上を図るため、耐久性があり強健な牛群への早期転換を支援します。

### 【取組内容】

#### ①神戸ビーフの生産拡大

但馬牛繁殖雌牛の導入支援による計画的な増頭や、新規就農者や規模拡大を希望する事業者が行う牛舎整備等を支援するとともに、乳牛への但馬牛受精卵の移植を推進

#### ②生乳の生産性向上

遺伝子解析により子牛の段階で優秀な乳用後継牛の選抜を可能にする「ゲノミック評価法」の普及を推進し、収益性の高い牛群への早期転換を支援

#### ③耕畜連携の推進

飼料増産や家畜堆肥の利用にかかる機械・設備の導入を支援し、飼料・肥料の輸入依存度の低減を推進



牛ふん堆肥等を原料としたペレット肥料の製造施設（神戸市）

## 重要施策 7

# 資源循環型林業と適正な森林管理の推進

新たな木材需要の開拓や認知度向上による県産木材の利用拡大と「主伐・再造林低コスト普及モデル」の普及により森林資源の循環利用を進めるとともに、森林経営管理制度等による収益の見込めない人工林の適正な管理を推進します。

### 【取組内容】

#### ① 県産木材の利用拡大

非住宅建築物の木造・木質化を促進するため、小売や飲食業等の民間企業に対して働きかけを強化するほか、中大規模の木造建築を推進する人材を育成するため、木構造や防耐火等の設計技術を習得する建築士養成講座や現地見学会等を開催

#### ② 主伐・再造林の推進

主伐等の作業工程や収益性等の分析により策定した「主伐・再造林低コスト普及モデル」の普及を図るなど花粉症対策や温室効果ガス吸収源対策にも資する主伐・再造林の推進を支援

#### ③ 森林経営管理制度の推進

収益の見込めない人工林の適正管理を進めるため、森林所有者に代わって市町が管理主体となる森林経営管理制度の取組を支援し、公益的機能が強く管理コストが低い針広混交林に誘導



建築士養成講座の修了生が設計した木造の幼稚園（神戸市）

## 重要施策 8

# 豊かな海と持続的な水産業の実現及び漁村の活性化

漁場への栄養塩類の添加やマダコ種苗の放流など、豊かな海づくりを推進するとともに、沖合漁業の漁船更新や労働環境改善に向けた機器導入等による漁船漁業の高度化を支援します。また、漁村の活性化を図るため、漁港の多様な利活用に向けた取組を推進します。

### 【取組内容】

#### ① 豊かな海を再生する取組の推進

漁業者による海底耕うんや有機肥料を用いた海底への施肥を進めるとともに、海底の有機物を分解し栄養塩類の放出が期待されるナマコ、クマエビの種苗放流を実施

漁獲量が減少しているマダコの種苗の量産技術開発や効果的な放流調査を実施

#### ② 漁船漁業の高度化の推進

操業コストの削減や就労環境の改善等に資する沖合底びき網漁船

等の新船建造を推進するとともに、新規就業者の漁船取得や労働環境の改善に資する機器導入を支援

#### ③ 漁村の活性化に向けた「海業」の推進

漁港施設を活用し、海や漁村が有する価値や魅力を活かした「海業」を推進



海底への施肥による底生生物の増加（ゴカイ等の糞塊の増加）（淡路市）  
（左：施肥なし）（右：施肥あり）

## 重要施策 9

# 県産農林水産物の流通・販売の拡大支援

百貨店と連携した食材フェアの開催や、海外でのプロモーションの実施など、県産農林水産物の販路拡大や認知度向上に向けた取組を推進します。

### 【取組内容】

#### ① ブランド戦略の推進

ブランド化に取り組む産地・産品や兵庫県認証食品の需要拡大をめざし、認知度向上の取組や全国商談会への出展等を支援

#### ② 国内での販路拡大支援

外食産業と連携し、県産食材の特長を生かしたメニューを提供するフェアや、フィールドパビリオンに認定されている生産者等との交流イベントを開催

規格外品の利用などSDGsに配慮した商品の開発及び販路拡大を図るとともに、百貨店が持つ食メディアにより県産農林水産物をPR

#### ③ 海外市場の販路開拓

アジア（香港）やEU（フランス）における県産農林水産物・加工品の小売店等でのテスト販売や海外バイヤーが集まる商談会への出展支援等により販路を拡大



百貨店と連携した食材フェアの開催（東京都）

## 重要施策 10 食と「農」に親しむ楽農生活と県産県消の推進

楽農生活の実践拡大や学校給食における県産食材の利用促進等により、「農」に対する消費者の理解醸成や生産者の販路拡大を図ります。

### 【取組内容】

#### ①定住・二地域居住の促進や楽農生活実践の拡大

兵庫楽農生活センターに「半農半Xコース」を新設するとともに、「農」に携わる多様な人材確保のため中間支援組織が行う取組や田舎暮らしの充実に向けた農園整備を支援

#### ②生産者と消費者が互いに支え合える関係づくりの推進

生産物の定期的・継続的な販売を行う CSA（Community Supported Agriculture）の手法を用いた取組を支援

市民農園やオープンファームなど、農林水産業を理解し、体験できる施設の整備・利用促進の取組を支援

#### ③学校給食での県産食材の利用促進

市町の教育委員会等へのアドバイザー派遣や、学校給食向け農産物栽培のための実証ほ設置支援に加え、安定的なロット確保や栄養教諭の業務負担軽減のためのコーディネート体制の構築を推進

県産有機農産物等の活用を促すため、環境負荷の少ない農業の価値啓発の取組や、市町域にとられない県域での供給体制の構築を支援



生産者による学校給食での食農教育（伊丹市）

## 重要施策 11 重大家畜伝染病の発生・まん延防止対策の徹底

高病原性鳥インフルエンザや、豚熱、アフリカ豚熱、口蹄疫の発生予防対策と発生時のまん延防止対策をより一層強化します。

### 【取組内容】

#### ○飼養衛生管理の徹底と実効性の高い防疫対策の構築

農場の立入指導を実施し、飼養衛生管理基準の遵守による発生予防対策を強化

農場毎防疫作業計画をより実効性のある内容に高めるとともに、早期通報の徹底や防疫訓練によりまん延を防止



アフリカ豚熱防疫演習（模擬いのしし死体の梱包）

## 重要施策 12 ため池災害等の未然防止と避難対策の推進

頻発化・激甚化する豪雨に備え、農村における安全・安心な暮らしを確保するため、ため池の防災・避難対策を推進します。

### 【取組内容】

#### ①ため池の適正管理の推進と防災工事の実施

決壊すると人命・財産に被害を及ぼすおそれがある特定ため池（約 8,600 箇所）を対象に定期点検を実施

早急な防災対策が必要と判定され優先度の高い 440 箇所について、改修・廃止工事を集中的かつ計画的に実施

#### ②減災・避難対策の推進

ため池の治水活用による減災対策や、水位計・カメラによるため池遠隔監視など ICT 機器を活用した避難対策を推進



改修工事が完了したため池（丹波篠山市）

## 重要施策 13 災害に強い森づくりの推進

記録的な豪雨や台風による被害が甚大化・頻発化していることから、県民緑税を活用し、森林の防災機能の強化を図ります。

### 【取組内容】

#### ○「災害に強い森づくり（第4期対策）」の推進

簡易防災施設の設置をはじめ、針広混交林化や都市部での森林整備、人と野生動物との棲み分けを図るバッファゾーン整備等を推進

災害に強い森づくり事業検証委員会の報告を踏まえ、社会情勢の変化等に伴う新たな課題への対応を検討



広葉樹の植栽による針広混交林化（宍粟市）

# 兵庫 県

令和7年3月

編集／兵庫 県農林水産部

神戸市中央区下山手通5-10-1

TEL.078-341-7711(代表) FAX.078-362-4458(総合農政課)